

## 専門家会議における今後の論点について

1. **モニタリング結果に関する分かりやすい情報発信のあり方(継続)**
  - ・ 分析結果のデータの示し方の検討 (グラフ化の手法等)
  - ・ 比較、参照するデータの示し方の検討
  - ・ 通常の幅を超える測定値が得られたときの対応の検討
  
2. **海域環境モニタリングの実施状況**
  - ・ 試料サンプリング状況の確認(継続)
  - ・ 分析の実施状況(品質マネジメント状況)の確認
  
3. **ALPS処理水の海洋放出後のモニタリングの強化・充実のあり方**
  - ・ 各分析機関の分析キャパシティの確認
  - ・ 迅速分析に係る手法、作業期間、検出下限目標値に係る検討
  - ・ 迅速分析を実施する対象測点、頻度等の検討
  
4. **その他**

※今年度中に残り3回の専門家会議を開催予定